

2013年度下半期 商社の環境保全活動

日本貿易会法人正会員が、社会貢献活動や国民運動につながる啓発活動の一環として、また、オフィス業務や事業活動として取り組んでいる環境保全活動について、各社資料から、とりまとめた。

1. 環境問題への理解促進

ユアサ商事「平生メガソーラーパーク」見学会

2013年10-12月、全国の取引先や地元の生活協同組合を対象に、山口県に保有する「平生メガソーラーパーク」の見学会を行った。同期間中に合計8回の見学会を行い、合計で約250人が参加、ツアー形式でパーク内を見学した。

参加者からは、山口県産の防草資材「NSバラス」の性能、塩害仕様の電気設備や架台、コスト等に関する質問とともに、「初めてメガソーラーパークを間近に見ることができ理解が深まった」「所有している遊休地の活用を検討したい」等の感想があった。

三井物産「富士山の自然を学ぶ」社員プログラム

2013年10月12日、社員および関係会社社員とその家族40人が参加し、山梨県環境科学研究所、NPO法人ホールアースの協力の下「富士山の自然を学ぶ」を開催した。山梨県環境科学研究所にて富士山の特徴的な植生につき講義を受けた後、樹海に移動して、溶岩の上に森や洞窟がどのようにできたのか説明を受け、「富士風穴」の洞窟を見学した。

参加者からは、「富士山だけではなく周囲



「富士山の自然を学ぶ」社員プログラム(三井物産提供)

の自然環境に興味を持った」等の感想があった。水田と里山の環境整備などのボランティア活動に加え、大自然を体感する機会などを通して、今後も環境保全の大切さを社員およびその家族と共有していく。

住友商事 産業廃棄物処理セミナー

2013年11月8日、他社と合同で、(株)日本廃棄物管理機構を講師として、適正な廃棄物処理方法、処理業者に対する監査ポイントについて研修を実施し、住友商事からは157人が参加した。また、産業廃棄物処理場である(株)クレハ環境かながわ事業所にて実地確認セミナーを実施し、18人が参加した。



産業廃棄物処理セミナー（住友商事提供）

参加者からは「座学に加え実際の処理工程を見学することができ、貴重な体験となった」等の感想があった。

兼松 環境保全に関する講演会

2013年12月12日、社員約100人が参加し、「COP19でみえてきた今後の国際枠組と日本」をテーマとする講演会を開催した。京都議定書、カンクン合意の下での日本の目標設定、2020年以降の新しい国際枠組みの実施等、新たなビジネスチャンスにつながる情報を提供した。

今後も社員の環境への関心を高め、数値目標に限らず技術協力、途上国への支援、国内対策の実施等を通じて地球環境の長期的な保全に貢献していきたい。

岩谷産業 イワタニ水素エネルギーフォーラム

2月10日に大阪、3月14日に東京において、「第8回イワタニ水素エネルギーフォーラム」を開催した。大阪会場では「燃料電池自動車（FCV）量産車の販売開始に向けて」、東京会場では「商用水素ステーションの技術開発について」をテーマに、熱気あふれる活発

な意見交換を行った。当日は、民間企業・大学・行政・NPOなど幅広い分野から、大阪会場には613人、東京会場には724人が参加し、それぞれ過去最多となり、水素エネルギー社会への期待の大きさが感じられた。

水素社会の早期実現に向けて、多くの方々との幅広い情報交換や交流を深めるべく、さらに充実した内容で本フォーラムの継続開催を目指していきたい。

伊藤忠商事 CSR・地球環境セミナー

2月20日、社員およびグループ会社社員約220人が参加し、CSR・地球環境セミナー「『気候変動』リスクとビジネスチャンス」を開催した。東京大学大気海洋研究所の木本昌秀教授より気候変動の状況、影響と対応等に関する最新の研究につき講演を受けた後、パネルディスカッションでは、ビジネスへの活用方法や今後の可能性につき活発な議論がなされた。

参加者からは「気候変動の深刻さをあらためて理解した」「気象情報をリスク管理に活かす実例が参考になった」等の意見があった。

2. 地域における環境保全活動

帝人フロンティア「a-nation」PETボトルリサイクル

2013年8月3日～9月1日、延べ58人の社員が、野外ライブツアー「a-nation island & stadium fes. 2013」において展開されたエコ活動「LOVE.PEACE & CLEAN」に参加した。会場内で発生した使用済みPETボトルをエコステーションに持参した来場者に対し、再生ポリエステル繊維を使用したボンフィン



「a-nation」PETボトルリサイクル(帝人フロンティア提供)



第21回東京本社環境ボランティア(メタルワン提供)

(ミサンガ)を手渡し、地球環境に対する「思い」を伝えた。回収したPETボトルは、帝人のリサイクル工場でケミカルリサイクルポリエステル繊維「エコペットプラス®」に再生される。

より多くの方々にリサイクルの素晴らしさを広め、身近に感じていただくことを通じて「地球環境に優しい企業」を目指していきたい。

メタルワン 第21回東京本社環境ボランティア

2013年10月19日、東京本社および関東近郊のグループ会社社員とその家族等128人が参加し、神奈川県江ノ島・片瀬東浜海岸を清掃した。可燃ゴミ220袋、不燃ゴミ230袋を収集し、希望者には海浜収集物を利用した小物入れづくり教室を開催した。

本活動は、企業理念にうたわれる「地球市民」を具現化する活動として位置付けており、循環型社会への寄与、自然生態系の保全という直接的効果、社会への好影響の発信、美化を通じての地域社会貢献と

いう間接的、副次的効果をもたらしている。引き続き、世代から世代へ、地域から世界へと豊かな循環型社会につなげていきたい。

日立ハイテクノロジーズ 香港 Cleanup Challenge

2013年10月20日、Castle Peak近くのHa Pak Lai（下白泥）において「2013日立ビーチクリーンアップデー」が開催され、日立ハイテクノロジーズ香港会社の社員・家族4人が参加した。当日は、香港地域の日立グループ会社10社の社員とその家族約160人の参加があり、積極的にビーチの清掃に取り組んだ結果、100kgのゴミを収集した。

本活動は、ビーチの清掃だけではなく、参加者のエコ意識向上やコミュニティサポートなどの成果もあった。今後も「ONE



香港 Cleanup Challenge (日立ハイテクノロジーズ提供)

HITACHI」という日立チーム精神の下、環境保全活動に取り組んでいきたい。

阪和興業 大阪本社清掃活動

2013年10月23日、大阪本社社員36人が、せんば心齋橋筋商店街の中央通りから南船場までの範囲を清掃し、一般ゴミ0.5kg、缶0.2kg、ペットボトル0.1kg、吸い殻0.1kgを回収した。大阪本社では、毎年2回、地域の清掃活動を行っている。

参加者からは「商店街通りなのにゴミが思っていた以上にあった」「少しでも街がきれいになり、すがすがしい気持ちになります！」等の感想があり、地域活動の一貫という意識の芽生えとともに、社員の環境保全活動への取り組み意識が向上している。

豊田通商 藤前干潟 秋のクリーン大作戦

2013年11月16日、社員およびグループ会社社員とその家族10人が参加し、愛知県の藤前干潟を清掃した。本活動は、市民、学生、企業、行政などによる協働取り組みとして、中堤と藤前干潟地区の2ヵ所で年2回、同時開催されており、今回は合計1,197人が参加し、10-12時の間に1,166袋ものゴミを拾った。

参加者からは「細かいプラスチックごみが多く散乱し、鳥が食べないようにという思いで一生懸命拾い、達成感があった」「子どもと一緒に参加することで、ボランティアの大切さ、環境保護の大切さを体感してくれたかなと思う」等の感想があった。



藤前干潟 秋のクリーン大作戦（豊田通商提供）

長瀬産業 中央区ウォークラリー クリーンアップ作戦

2013年11月23日、中央ぶらねっと主催の「中央区ウォークラリー クリーンアップ作戦」へ社員8人が参加し、中央区内の名所などを巡りながらゴミ清掃活動を行った。長瀬産業は、幹事会社として企画段階から参画し、当日の全参加者77人がゴミ合計45kgを収集した。

参加者からは「景色を楽しみながら清掃活動をすることができた」等の感想があり、アンケートではまた参加したいとの回答が97%であった。今後も、中央ぶらねっとの活動を通じて、社会貢献活動を行いたい。



中央区ウォークラリー クリーンアップ作戦（長瀬産業提供）



第4回双日グループ森林保全活動（双日提供）

双日 双日グループ森林保全活動

2013年11月30日、グループの社員とその家族30人が参加し、東京都西多摩郡において、杉やひのき、竹の間伐等を行った。本活動は、環境および生物多様性に関する意識啓発を目的としており、今回で4回目の実施となる。

参加者からは「間伐作業がどういうものか、いかに大変なのか理解できた」「いろいろな社員と交流することができた」等の感想があった。

三菱商事 熱帯林再生実験プロジェクト

三菱商事では、1990年より「熱帯林再生実験プロジェクト」を開始し、現在マレーシア、ブラジル、ケニア、インドネシアで活動している。このプロジェクトは、横浜国立大学の宮脇昭名誉教授の研究に基づき、現地固有の植物を密植・混植方式で植林し、熱帯林の短期再生を目指すもので、毎年社員ボランティアが現地で植樹を行っている。

2月11－15日、マレーシアのボルネオ島で、社員約20人が参加し、マレーシア国立農業



熱帯林再生実験プロジェクト（三菱商事提供）

大学の学生約300人と共に3,000本超の植樹を行った。

参加者からは「環境保全についてあらためて考えるきっかけとなった」「自分の植えた木が将来どのように成長するのか楽しみ」等の感想があった。今後も、産・学・民連携の下、熱帯林再生に寄与していきたい。

丸紅 第2回アドプトフォレスト「丸紅の森」

3月21日、大阪府岸和田市の神於山にある「丸紅の森」で、社員およびグループ会社社員とその家族45人が、NPO法人「神於山保全くらぶ」指導の下、竹林を伐採し、くぬぎの苗木を植えた。丸紅大阪支社では、管理されずに荒廃した森を守り広葉樹林化する「アドプトフォレスト」活動に賛同し、2011年12月に「丸紅の森」宣言書に調印している。

参加者からは「作業は思った以上に大変であったが、豊かな緑の再生という地域貢献活動に協力することができ、また、他の参加者たちと交流を深めることもでき、とても有意義な一日を過ごせた」等の感想があった。

